

# ○1号、陸送上屋の供用開始に向けた 今後の予定について



平成30年8月3日

鳥取県境港水産事務所

# 境漁港 高度衛生管理型市場整備事業

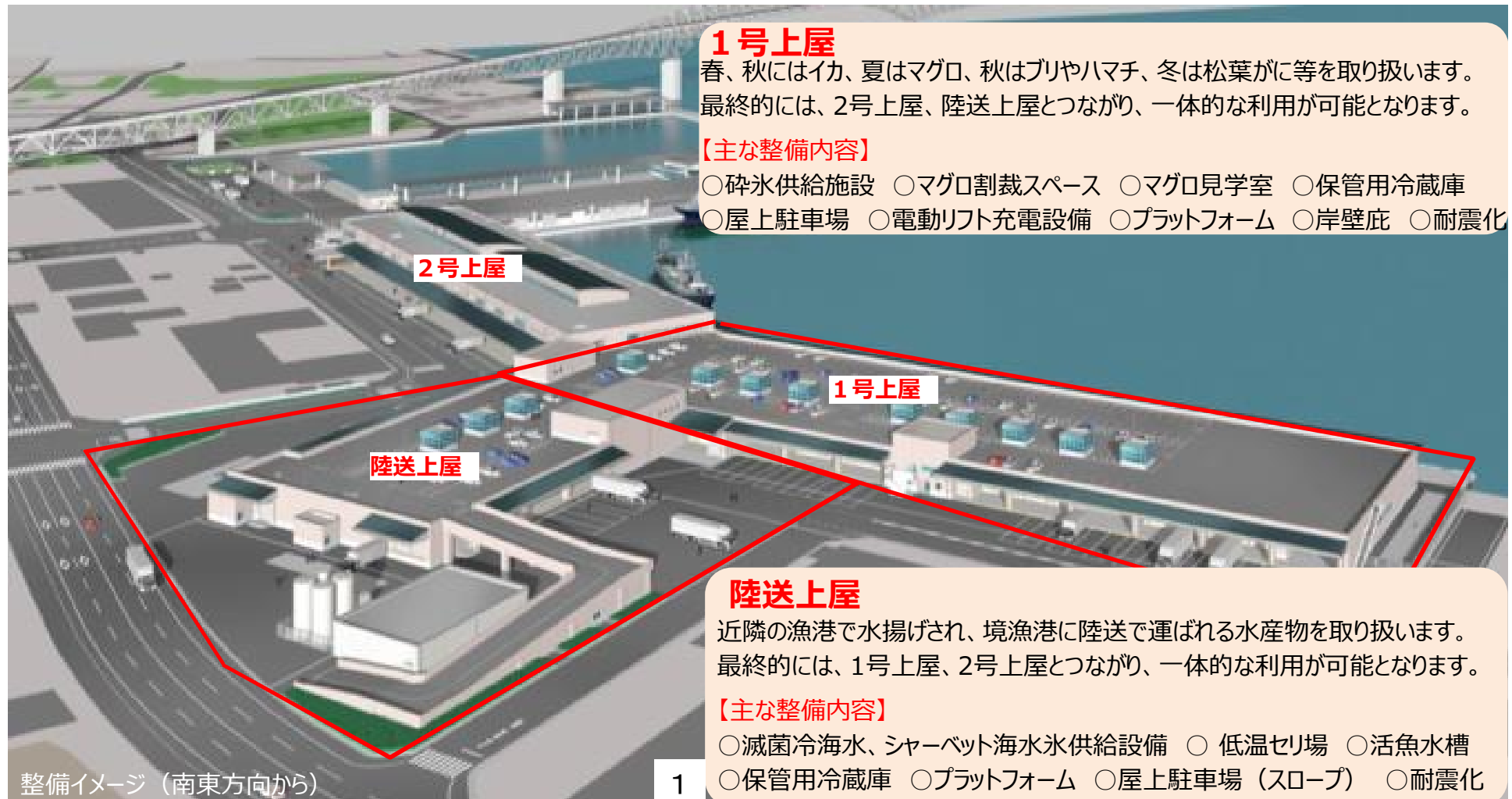
## 陸送上屋

平成30年10月完成予定

## 1号上屋

平成31年4月完成予定

平成31年6月頃  
供用開始予定



### 1号上屋

春、秋にはイカ、夏はマグロ、秋はブリやハマチ、冬は松葉がに等を取り扱います。最終的には、2号上屋、陸送上屋とつながり、一体的な利用が可能となります。

#### 【主な整備内容】

- 砕氷供給施設
- マグロ割裁スペース
- マグロ見学室
- 保管用冷蔵庫
- 屋上駐車場
- 電動リフト充電設備
- プラットフォーム
- 岸壁庇
- 耐震化

### 2号上屋

### 1号上屋

### 陸送上屋

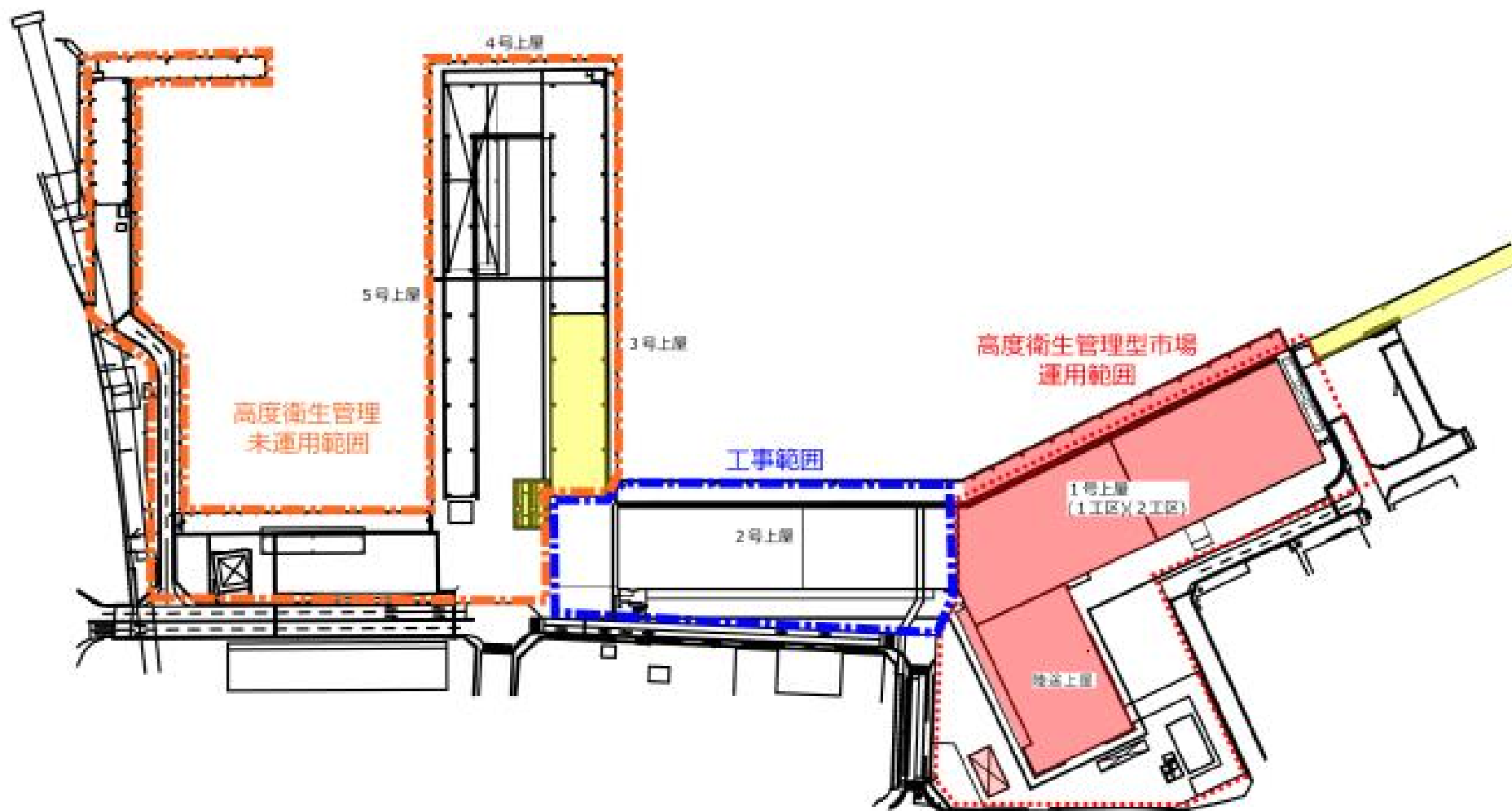
### 陸送上屋

近隣の漁港で水揚げされ、境漁港に陸送で運ばれる水産物を取り扱います。最終的には、1号上屋、2号上屋とつながり、一体的な利用が可能となります。

#### 【主な整備内容】

- 滅菌冷海水、シャーベット海水氷供給設備
- 低温セリ場
- 活魚水槽
- 保管用冷蔵庫
- プラットフォーム
- 屋上駐車場（スロープ）
- 耐震化

# 1号・陸送上屋供用開始時点での高度衛生管理型市場運用範囲



# 衛生管理マニュアルの策定について

	平成29年度			平成30年度										平成31年度									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
○市場整備																							
陸送上屋整備	躯体組立					建具塗装					構内舗装												
1号上屋整備	岸壁上部工		杭打ち			躯体組立		土間腰壁		外壁工事		建具庇等			外構舗装								
2号上屋解体																							
2号上屋整備																							
○市場利用協議会																							
衛生管理マニュアル策定	電動フォークリフトの仕様を確定			<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生管理マニュアル(共通編)の策定</li> <li>衛生管理マニュアル(陸送、1号上屋版)の策定</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアル周知期間</li> <li>手引書の作成</li> </ul>									
○主要水揚げ	松葉	松葉	松葉			マグロ	マグロ					松葉	松葉	松葉	松葉	松葉			マグロ	マグロ			

H31.6頃  
共用開始

高度衛生管理型市場として運用

2号上屋2階各事務所は、  
H31.3までに退去

1号・陸送上屋共用開始次第、  
2号上屋1階 資材撤去、解体着手

衛生管理マニュアル  
の運用開始

既存マニュアル  
の見直し・改訂

- \* 新市場でのマニュアルで特に議論が必要な箇所は、「入場者管理(緑帽の取扱)」、「出荷準備スペースの使い方」など
- \* 平成32年度から「2号上屋」、「まき網岸壁」、平成33年度から「かにかご上屋」の衛生管理マニュアルを策定

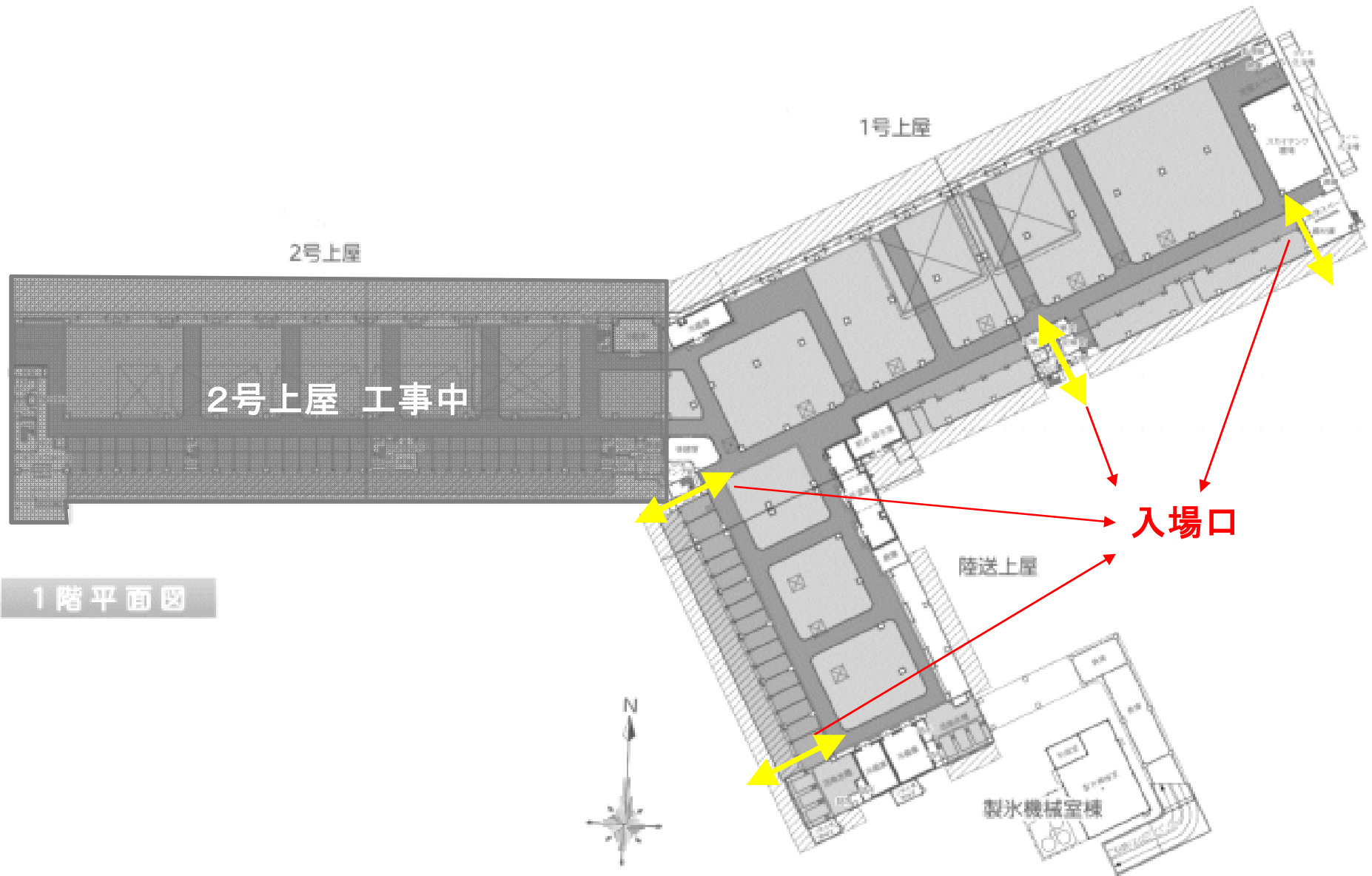
# 新市場の利用（主な基本ルール）

## ○入場者の管理

- ・着帽（関係者以外は立入禁止）
- ・入場時の手洗い（石鹼洗い、消毒、乾燥）、長靴洗い



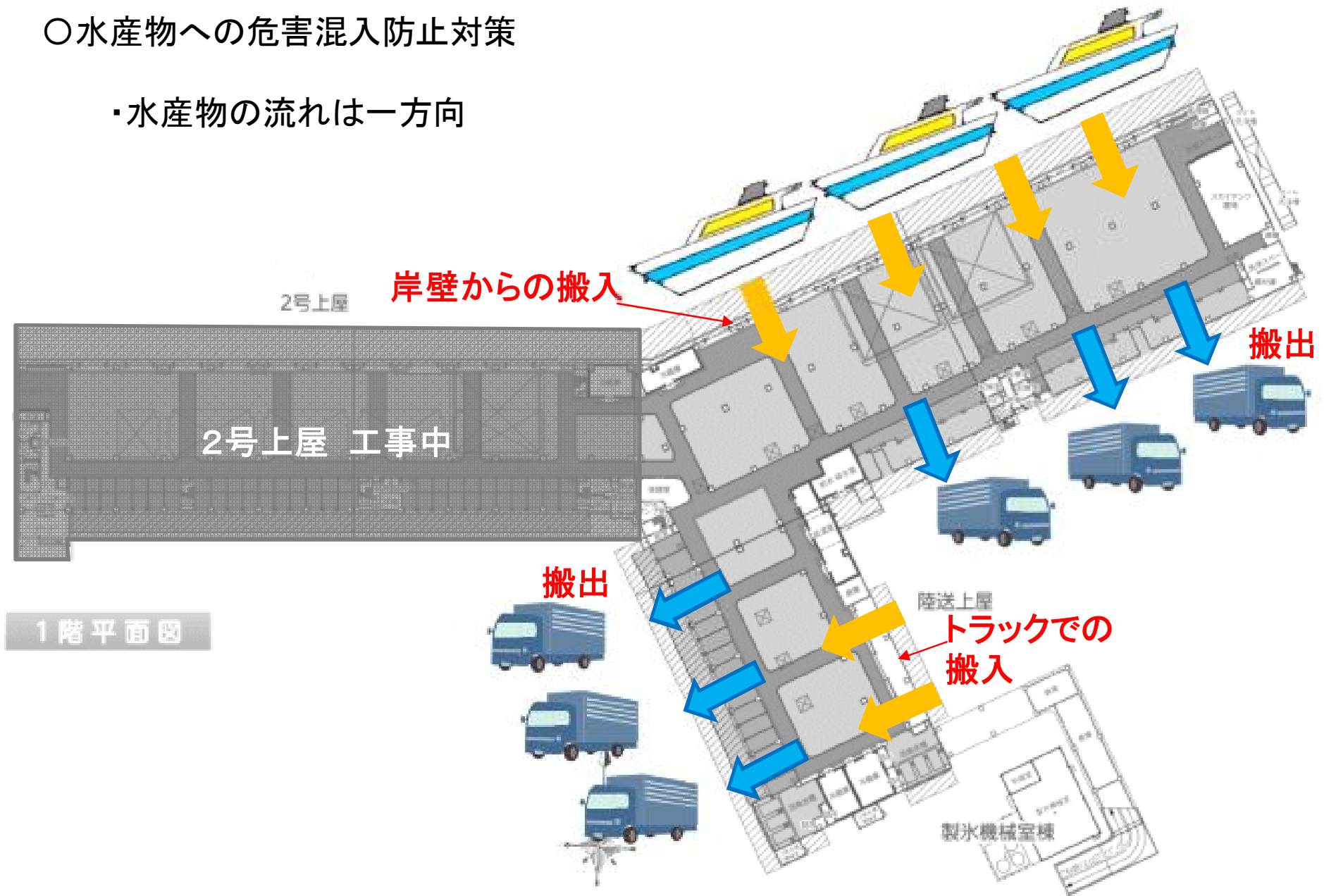
※ セリ場とリフト通路の区画は調整中



1階平面図

# ○水産物への危害混入防止対策

- ・水産物の流れは一方方向



※ セリ場とリフト通路の区画は調整中



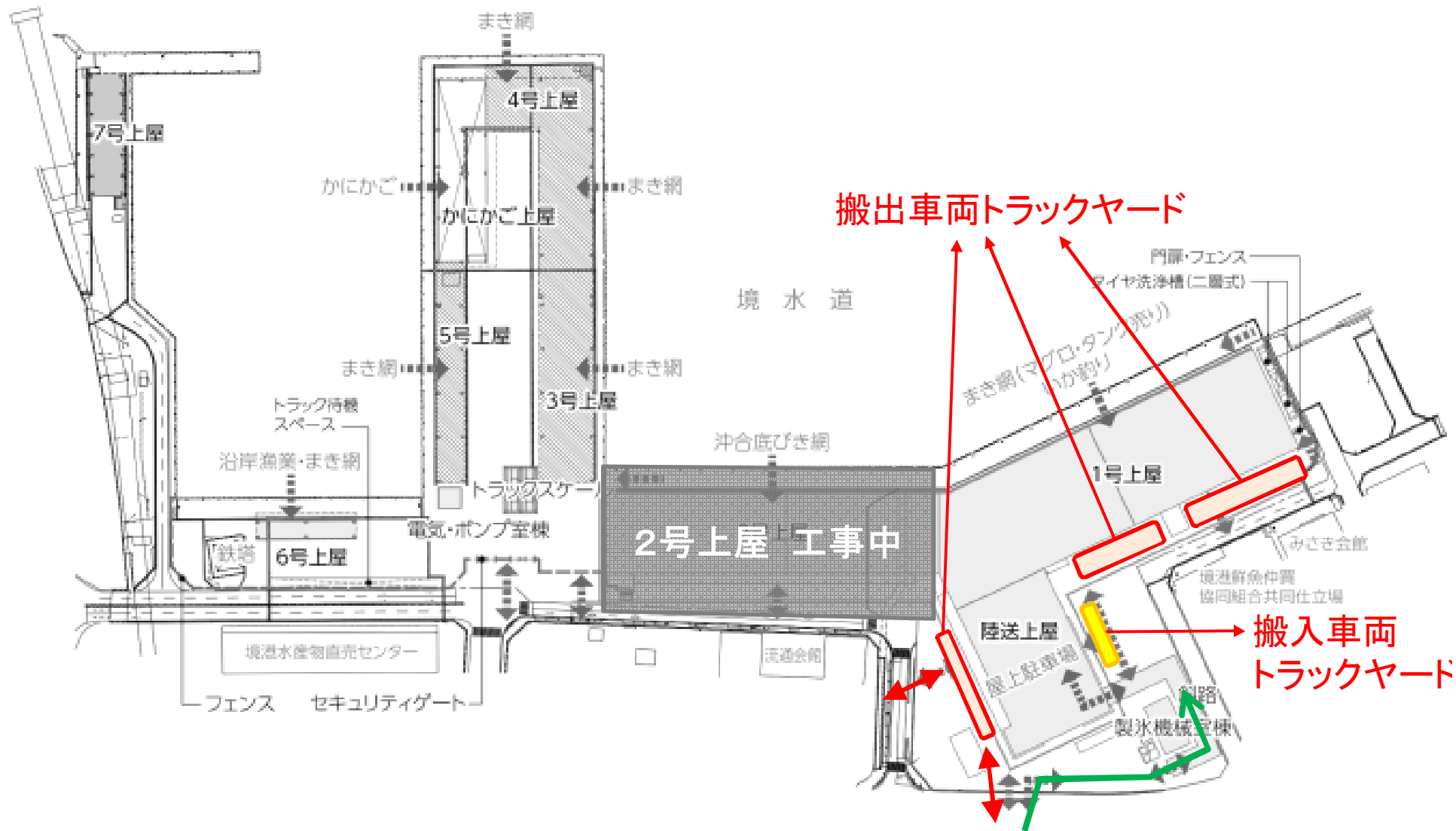
# 水産物の搬出入はトラックヤードから





# ○車両管理

- ・岸壁への車両の進入は原則不可



搬出車両トラックヤード

搬入車両  
トラックヤード

搬出・搬入以外の車両 : 屋上駐車場へ

# 水産物の搬出入以外の 車両は屋上駐車場を使用



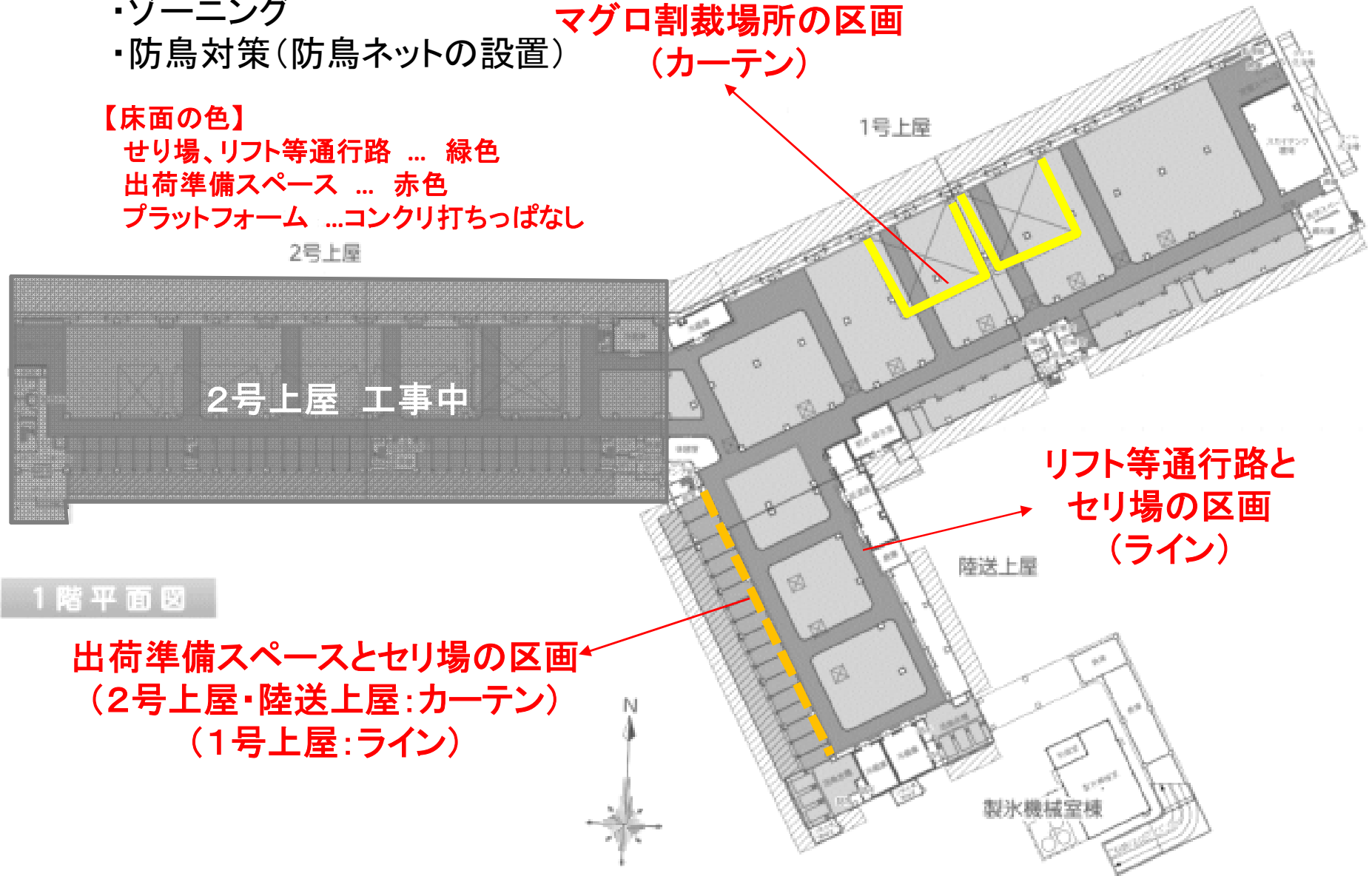
○水産物への危害混入防止対策

- ・ゾーニング
- ・防鳥対策(防鳥ネットの設置)

【床面の色】

- せり場、リフト等通行路 ... 緑色
- 出荷準備スペース ... 赤色
- プラットフォーム ... コンクリ打ちっぱなし

マグロ割裁場所の区画  
(カーテン)



出荷準備スペースとせり場の区画  
(2号上屋・陸送上屋:カーテン)  
(1号上屋:ライン)

リフト等通行路と  
せり場の区画  
(ライン)

※ セリ場とリフト通路の区画は調整中

## ○水産物の管理

- ・木製品、中古発泡スチロール魚箱の使用禁止  
(魚箱、パレット、台車、机、イス等)



## ○水産物の管理

- ・排ガス車両の進入禁止  
(トラック、自動車、エンジンリフト)



# 水産物の床面への直置き禁止 パレット上に陳列



**\* マグロの陳列方法については、別途調整中。**

# 給水ホースの口および本体は床面につけないこと





# 搬出入の作業がないときは 開口部の防鳥ネットを閉めること

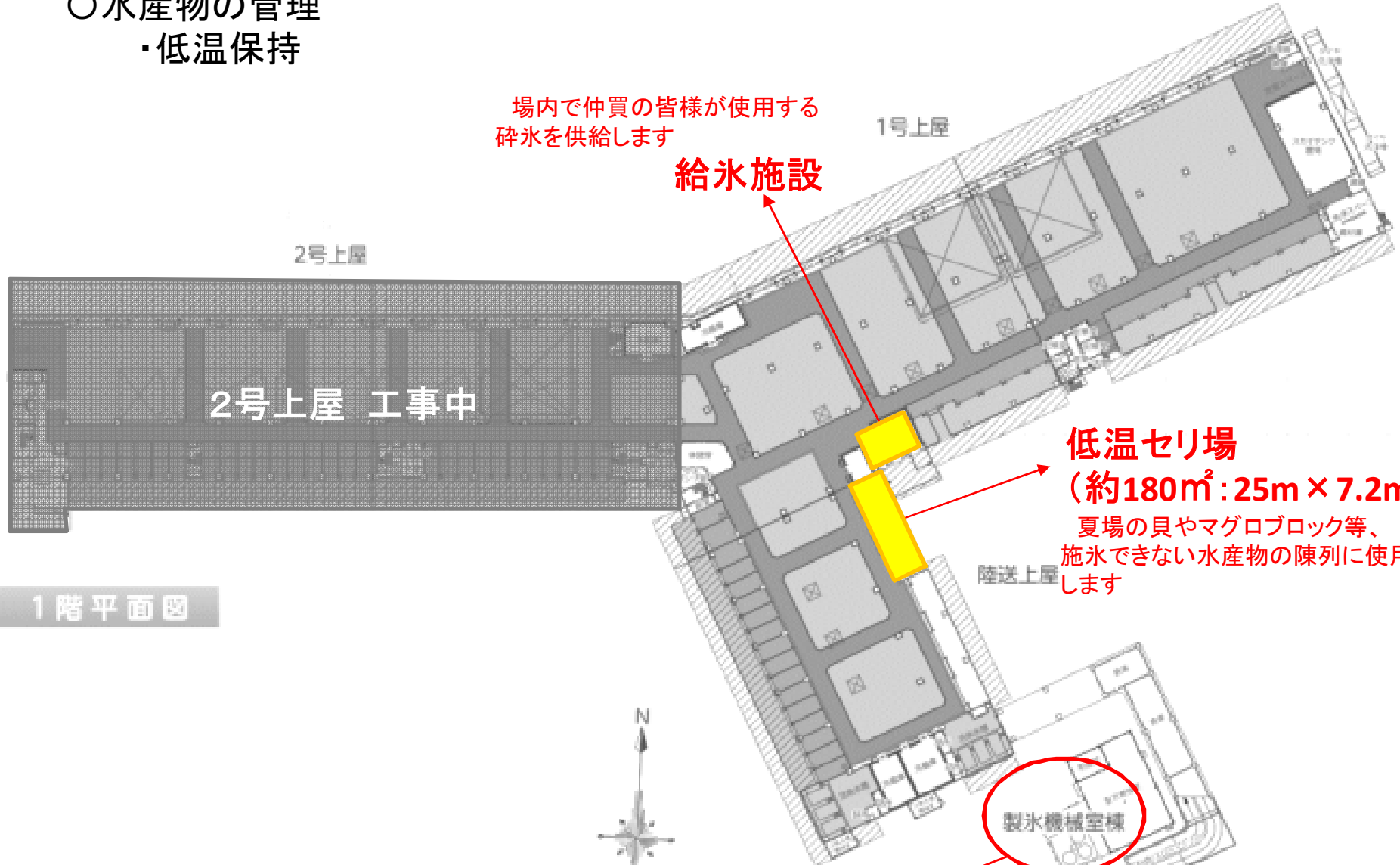


※ セリ場とリフト通路の区画は調整中

○水産物の管理  
・低温保持

場内で仲買の皆様が使用する  
砕氷を供給します

給氷施設



低温セリ場  
(約180㎡:25m×7.2m)

夏場の貝やマグロブロック等、  
施氷できない水産物の陳列に使用  
します

シャーベットアイス、冷海水供給施設

セリ場陳列時の品質保持に使用します

○シャーベットアイス...ブリ、ハマチのタンク売りの海水氷の代替となります。

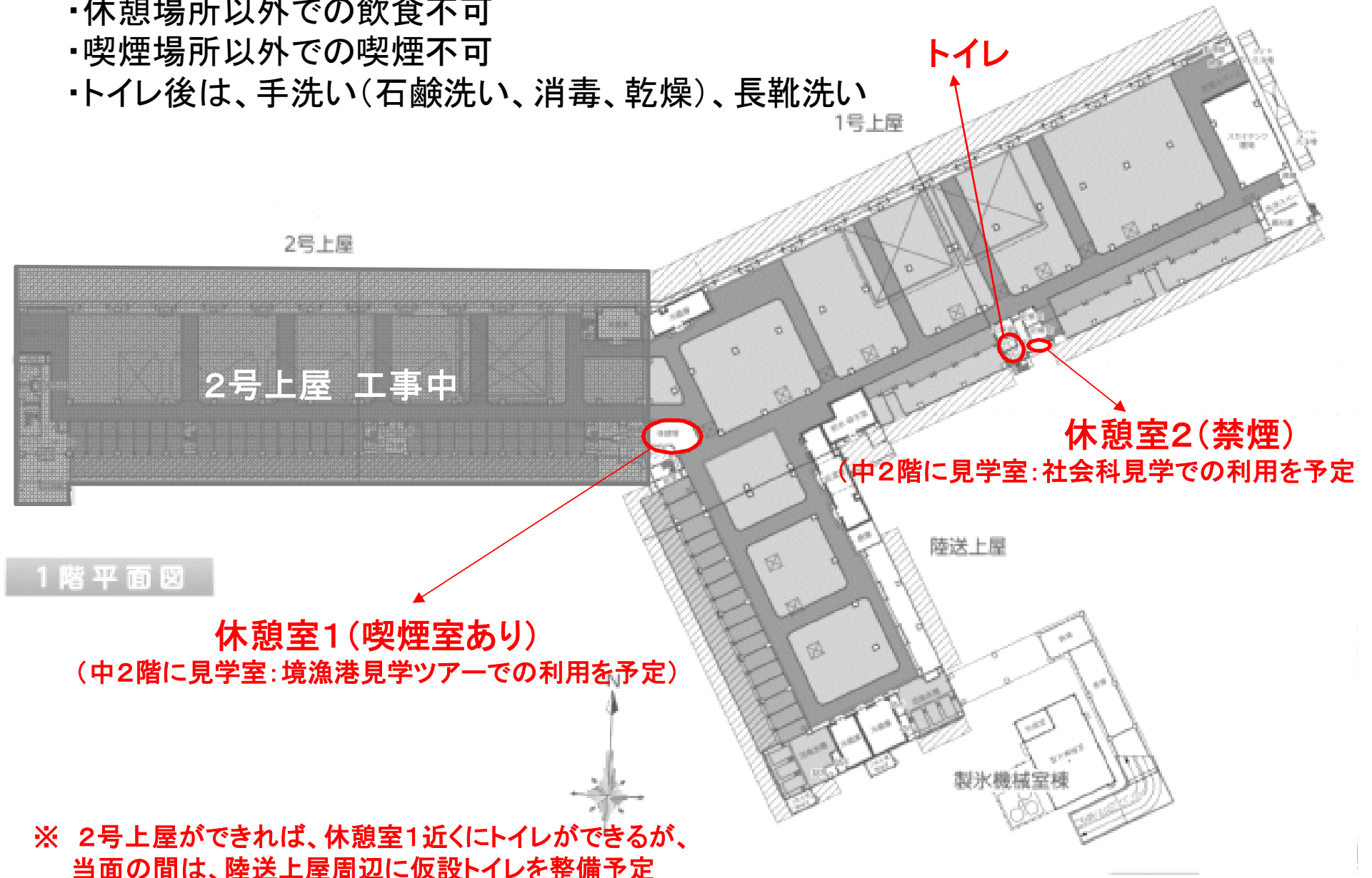
○冷海水...活松葉がにのタンク売りの冷海水として使用します。

1階平面図

※ セリ場とリフト通路の区画は調整中

○休憩場所、喫煙場所、トイレ

- ・休憩場所以外での飲食不可
- ・喫煙場所以外での喫煙不可
- ・トイレ後は、手洗い(石鹼洗い、消毒、乾燥)、長靴洗い



# 新市場供用開始に向けた広報計画

## ○これまでの取組

- H26 お絵描きコンテスト
- H29.3 安全祈願祭
- H29.5 新市場完成模型の作成、お披露目
- H30.4 市場関係者内部見学会

## ○今後の予定

- H30秋頃 ロゴマーク公募、お絵描きコンテスト
- H30.11頃 第2回市場関係者内部見学会
- H31.5頃 新市場お披露目、供用開始式典等

# 北東アジアゲートウェイ「境港」の現状

## ①国内・国際物流の拡大・連結

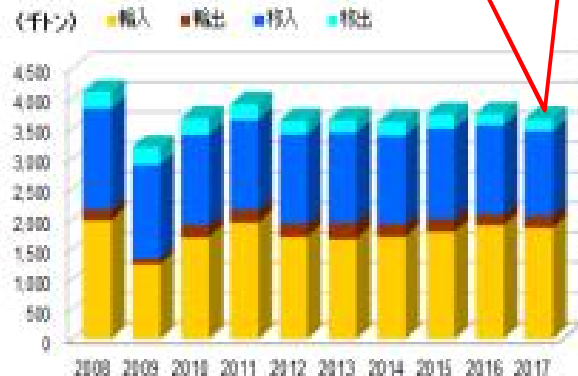


**就航10年目**  
我が国唯一の環日本海定期貨客船航路。9年で20万人の旅客輸送達成し、昨年は初めて**3万人/年**を突破！

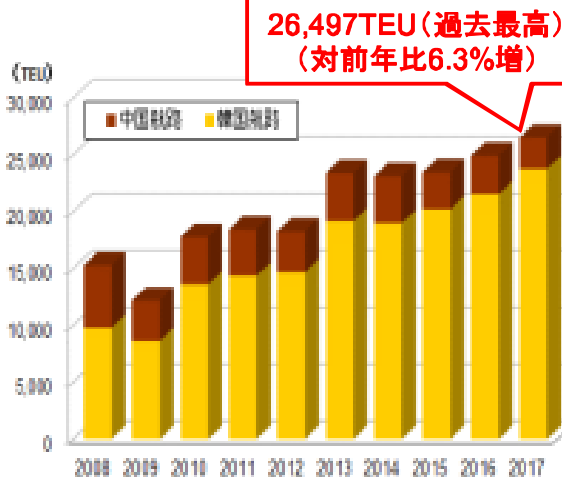


- 北東アジアゲートウェイとして、境港を**国内・国際物流の結節点**として圏域の経済活動の拡大。
- 国際定期貨客船との連結により、**新たな物流ルートの確立。**
  - ・コスト削減、リードタイム縮減。
  - (活魚運搬車による試験輸送の実施: H24)
- 平成29年3月より、小ロットの貨物を境港から海上輸送する「**輸出混載サービス**」を開始。

## ■全体貨物量



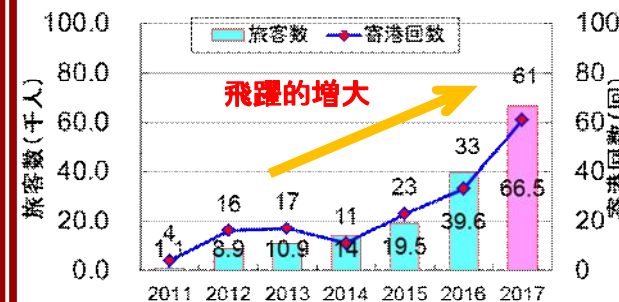
## ■コンテナ取扱量 (実入りベース)



## ②急増・大型化するクルーズ船寄港への対応

### H29年初入港

コスタ・ネオロマンチカ初寄港 (H29年4月29日)



- 昨年は環日本海クルーズもあり、**61回**の寄港で、**乗客数約66,000人**！！
- 昨年初寄港となるコスタ・ネオロマンチカが平成29年に24回寄港！
- 官民あげてのおもてなし
  - ・観光案内通訳ボランティアが始動
  - ・岸壁での免税店、Wi-Fi、外貨両替の設置
  - ・免税店が1年間で10倍以上(78店舗)に増加



# 境港の新時代を拓く最新鋭貨客船ターミナルの整備

境港ふ頭再編改良事業【竹内南地区貨客船ターミナル整備】 事業期間:平成27~31年度

○我が国唯一の日・韓・ロを結ぶ国際定期貨客船(DBSクルーズフェリー)や国内RORO船、大型クルーズ船などに対応した物流・人流ネットワークの拠点として、**機能集約化した旅客・物流ターミナル整備**を実施中。



日本海側の海の玄関口として  
**2020年春 完成予定**

さかいこう  
境港に完成する

新たな旅客施設の  
名称を募集します



# 水木ロードリニューアル (H30.7.14)



## 初の大規模改修が完了 境港・水木ロード、300人行進

境港の観光客が異変中を行進する様子の様子を捉える。14日、境港市松ヶ崎町。水木しげるロードの初の大規模改修が完了し、境港・水木ロード、300人が行進した。水木しげるロードの初の大規模改修が完了し、境港・水木ロード、300人が行進した。水木しげるロードの初の大規模改修が完了し、境港・水木ロード、300人が行進した。



## 魅力アップ 水木ロード 装い新たに



水木しげるロードの初の大規模改修が完了し、境港・水木ロード、300人が行進した。水木しげるロードの初の大規模改修が完了し、境港・水木ロード、300人が行進した。水木しげるロードの初の大規模改修が完了し、境港・水木ロード、300人が行進した。

魅力アップ  
水木ロード  
装い新たに

## 水木ロード25年 リニューアルオープン



## 177体再配置 ファン「楽しい」

水木しげるロードの初の大規模改修が完了し、境港・水木ロード、300人が行進した。水木しげるロードの初の大規模改修が完了し、境港・水木ロード、300人が行進した。水木しげるロードの初の大規模改修が完了し、境港・水木ロード、300人が行進した。

## 昼と夜異なる魅力



# さかいみなと三大水産祭り



# 社会科見学



○小学生、保育園・幼稚園児、高校生など  
1,000人以上が来場

# 漁港見学ツアー

- おさかなガイドによる好評な境漁港見学ツアー。年間1,000人を超える。特に平成26年度から本格実施した早朝セリ見学が人気。H28以降、海外からの参加者(個人客)も増加。



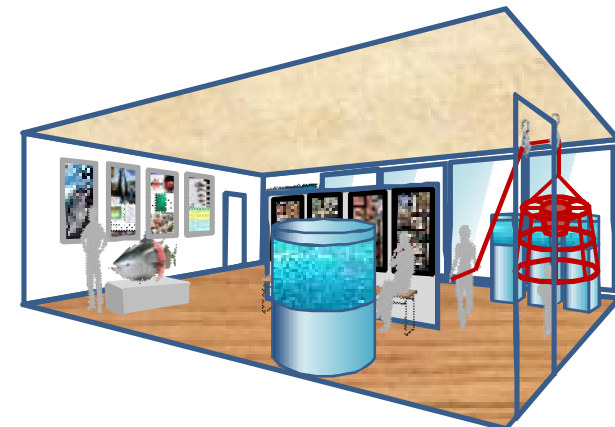
26年度 1,364人、うち海外9人(0.6%)  
27年度 1,253人、うち海外38人(3%)  
28年度 1,051人、うち海外58人(5.5%)  
…韓国35人、香港15人、中国8人  
29年度 925人、うち海外136人(14.7%)  
…韓国3人、香港113人、台湾2人  
シンガポール15人、マカオ3人



おさかなガイド

- その他、バイヤー・視察・報道対応(1,000人以上)  
→約3,500人の方が漁港見学に訪れている

- 新市場では、見学通路や体験型展示施設の整備も予定し、より漁港・市場に親しんでいただくける施設を目指す。



# さかいみなと漁港・市場活性化ビジョンの 進捗状況(前回以降)

## 《信頼される漁港・市場作り、衛生管理の強化》

- ・平成29年10月 市場活性化協議会で先進地視察(石巻、塩釜)
- ・平成29年9月 品質衛生管理講演会の開催(毒を持つ海の生物と食中毒)
- ・平成30年3月 衛生管理情報発信掲示板の設置(2号上屋内、5か所)
- ・平成30年5月 市場利用協議会分科会の設置、衛生管理マニュアルの策定に着手

## 《活力ある漁港市場づくり、水産物の販路拡大》

- ・平成29年10月 阪神梅田本店において『中野港漁村市in大阪』を実施
- ・平成30年4月、6月 クルーズ客船への境港サーモン、マグロの納品
- ・平成30年6月、7月 マグロPRにて、水木しげるロードリニューアルとのコラボ  
(首都圏マグロPRにおける水木しげるロードリニューアルPR)  
(水木しげるロードリニューアルイベントでのマグロ解体ショー)
- ・平成29年9月 水産物輸出のための漁獲証明書 発行体制の確立

## 【今後の予定】

- ・豊洲市場現地説明会(8/7)
- ・豊洲市場 視察(9/4)
- ・輸出入促進協議会によるタイ視察(来年2月頃)

## さかいみなと漁港・市場活性化ビジョン将来構想の進捗状況について

信頼される漁港・市場づくり	
災害に強い漁港・市場整備	
地震・津波対策	<市場整備に併せて>
避難場所の確保	<市場整備に併せて>
衛生管理の強化	
高度衛生管理型市場の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 高度衛生管理型漁港・市場整備について、国直轄調査を実施</li> <li>・平成25年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施(宿毛、八幡浜)</li> <li>・平成26年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施(焼津)</li> <li>・平成27年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施(魚津)</li> <li>・平成28年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施(銚子)</li> <li>・平成29年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施(石巻、塩竈)</li> </ul>
高度衛生管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年2月12日 水産物産地 品質・衛生管理講習会実施</li> <li>・平成27年2月17日 産地市場の品質衛生管理講習会実施</li> <li>・平成27年6月23日 品質・衛生管理講習会(水産加工業者向け)実施</li> <li>・平成27年9月14日 「境港水産物市場利用協議会」発足</li> <li>・平成28年1月26日 品質・衛生管理講習会(市場関係者向け)実施</li> <li>・平成29年1月24日 品質・衛生管理講習会(市場関係者向け)実施</li> <li>・平成29年9月14日 品質・衛生管理講習会(市場関係者向け)実施</li> <li>・平成30年3月 衛生管理情報発信掲示板設置(2号上屋内5カ所)</li> <li>・平成30年5月 境港水産物市場利用協議会分科会の設置、衛生管理マニュアル策定着手</li> </ul>
汚水処理施設及び管渠の改修	・平成26年度より順次着手。平成27年度完了
周辺環境の整備	
係留岸壁の充実	・係留システム等による係船調整の手法を検討中
漁港利用者のための施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年7月 休けい岸壁の多目的トイレをウォシュレット付に改良、東側陸電設備に30Aコンセントを設置</li> <li>・平成26年4月～ 陸電の利用時間について申告制に移行</li> </ul>
臨港道路の高潮・振動対策	・平成26年1月 応急処置として、舗装補修工事を実施。26年度～27年度で改良工事を実施

活力ある漁港市場づくり	
水産物の付加価値向上	
産地一次加工の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年8月 船上での一次加工技術開発に向け、試験船第一鳥取丸に紫外線殺菌装置やフリーザーを設置。ハタハタ、マダラの2魚種で冷凍・試食の評価を実施</li> <li>・平成25年11月～3月 産地一次加工品の評価を検証するため、実証試験を実施</li> </ul>
境港ブランドの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年2月 境港市場整備パンフレット作成</li> <li>・平成27年3月 「水産王国境港 四季のさかな」パンフレット作成</li> <li>・平成27年12月 ベニズワイガニのブランド化を含めた「境港地域プロジェクト改革計画」が承認された</li> <li>・平成27年12月 境港水産加工ハンドブック作成</li> <li>・平成28年8月 「水産王国境港 四季のさかな」パンフレット 英語版作成</li> <li>・平成29年3月 「水産王国境港 四季のさかな」パンフレット 中国語版作成</li> <li>・平成29年11月 「水産王国境港 四季のさかな」パンフレット 香港語版作成</li> <li>・平成29年12月 ベニズワイガニのレシピ本作成</li> </ul>
6次産業化の推進 情報収集・水揚物管理記録の 保持・情報提供	<市場整備に併せて>
水産物の販路拡大	
活魚出荷の推進	<市場整備に併せて>
関西でのマーケティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年4月26～28日 食博覧会大阪に出展</li> <li>・平成25年6月29～30日 イオン茨木店での鳥取県フェアに参加</li> <li>・平成26年7月5～6日、平成27年7月4日～5日、平成28年7月3日 イオン伊丹昆陽店での鳥取県フェアに参加</li> <li>・その他、個別企業でも関西で鳥取県フェアを実施</li> <li>・平成27年5月、28年5月 関西の百貨店でマグロ初水揚げ同日販売を実施。</li> <li>・平成28年1月 関西での中野港漁村市の開催を百貨店と協議。漁業者による売り場視察を実施。</li> <li>・平成29年10月 阪神梅田本店において『中野港漁村市in大阪』を開催</li> </ul>
海外市場の開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年10月4～8日 鳥取県水産物輸出入促進協議会及び境港水産振興協会が韓国市場調査を実施</li> <li>・平成26年9月5～14日 同協議会が、「鳥取県観光物産展inクアラルンプール」に出店</li> <li>・平成27年1月18～22日 同協議会が、タイ(バンコク)・中国(マカオ)市場調査を実施</li> <li>・平成27年1月～3月 「漁港・市場を核とした輸出促進対策ガイドライン」作成に向けた調査・検討会実施(国主体)</li> <li>・平成27年8月～ EU輸出に係る産地市場の登録のための実務マニュアル策定検討会実施(国主体)</li> <li>・平成28年3月、8月「鳥取県食材レストランフェアinウラジオストク」にブリを輸出</li> <li>・平成28年7月「イオン香港コーンヒル店鳥取岡山観光物産展」でベニズワイガニ、クロマグロをPR販売</li> <li>・平成30年4月、6月 クルーズ客船へ境港サーモン、マグロの納品</li> <li>・水産物輸出のための漁獲証明書 発行体制の確立</li> </ul>
効率的な水揚げができる漁港・市場への再構築	<市場整備に併せて>



親しまれる漁港市場づくり	
観光分野との連携	
魅力ある水産物直売センターの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年1月 山陰旋網漁業協同組合に売却</li> <li>・平成27年1月 水産物情報発信施設を開設</li> </ul>
漁港見学ツアーの充実	
早朝セリ見学の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・境港水産物市場管理(株)において、早朝市場見学希望者への対応を開始</li> <li>・境港水産振興協会において、土曜日午前7時からの早朝市場見学ツアーを開始</li> </ul>
見学通路の整備	<市場整備に併せて>
食育・魚食普及活動の推進	
学校給食等での地元水産物の活用による食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・境港市内保育所、幼稚園でギンザケ集会（5月）、マグロ集会（6月）、カニ集会（9月）を実施</li> <li>・境港産ハタハタ、アジ、イワシ等を小学校給食で使用し、児童に概要を説明</li> </ul>
継続的な水産イベント等による魚食普及活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年5月～ 中野港において「さかいみなど中野港漁村市」を開催。</li> <li>・カニ感謝祭（1月）、境港まぐろ感謝祭（7月）、境港水産まつり（10月）を継続開催</li> </ul>

# ○中野港漁村市in大阪



# ○マグロPRにて、水木しげるロードリニューアルとのコラボ (首都圏マグロPRにおける水木しげるロードリニューアルPR)



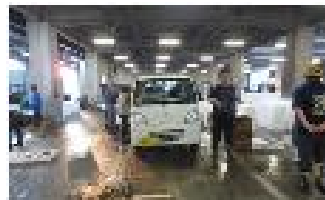
# 輸出拡大の取組

## 現状

- まき網漁業、底びき網漁業やかにかご漁業等の日本海沖合漁業の拠点
- イワシ、サバを中心として、年間約13万トンの陸揚げがあり、ベニズワイガニの陸揚げは日本一
- サバ、イワシ、ブリ類等を冷凍し商社経由で主に中国、韓国、東南アジアに輸出
- 輸出額は全体で約20億円(推計値)  
(輸出量は約14,000トン:国内商社経由)

## 輸出拡大に向けて直面している課題

- 多様な水産物の取扱いがある一方、輸出されている魚種は限定的
- 野天の陸揚げや荷さばき所内への鳥類の侵入など、漁港における品質・衛生管理対策が不十分
- 地域内の冷凍・冷蔵施設が不足しているため、陸揚げ量の増加に対応できない
- 加工原料となる水産物の不足
- 海外での境港ブランドの認知度不足



## 課題解決に向けた取組

- 漁港の衛生管理対策による水産物の品質向上と競争力強化
- 水産物集出荷機能及び冷凍・冷蔵施設の整備によるストック機能の強化により、陸揚げ量の増加に対応
- 輸出協議会等による商談会参加など販路拡大

- うち、TPP対策補正予算
  - 衛生管理型荷さばき所
  - 冷凍・冷蔵施設



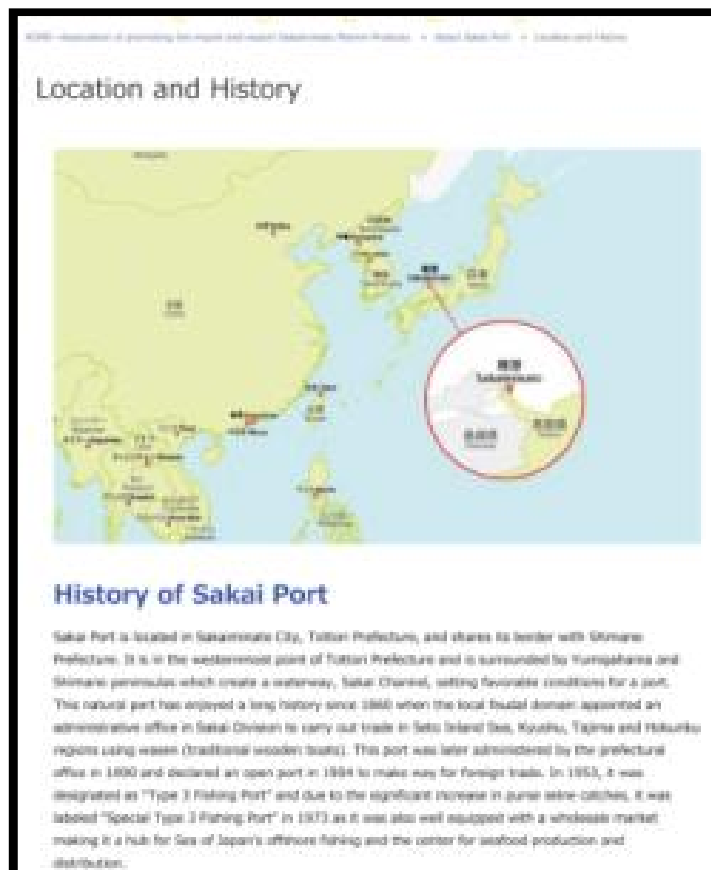
## 拠点整備後の展望

- 衛生管理による品質向上と水産物の取扱量の増加
  - ・資源回復傾向にあるマイワシ等をベトナム等へ
- 冷凍及び冷蔵施設の整備による輸出商材のストック量増加
  - ・サバ、イワシ等を冷凍で東南アジアへ
- 販路拡大の取組により新規マーケットの開発
  - ・フィレ加工アジをアメリカへ、ベニズワイガニ加工品を香港へ、鮮魚(ズワイガニ、キジハタ等)をマレーシアへ
- 新市場を境港産水産物のPRの拠点として活用
  - ・海外のバイヤーやクルーズ船等による外国人観光客への境港ブランドの積極的なPR

これらの取組により、輸出額を20億円から40億円に増加させることを目指す

# 【漁港・市場を核とした輸出促進】

○鳥取県境港輸出入促進協議会は  
海外との商談に活用可能な  
英語版も含むHP立ち上げ(H29.3)



○海外の物産展に参加し、PR



○境港市産地協議会は、  
境漁港の魚を紹介する  
パンフレットの英語版、  
中国語版、香港語版  
を作成  
(H28~29年度)  
→増える海外観光客の  
見学対応に活用



○輸出促進のため、特恵関税の適用を受けるための漁獲証明書を円滑に発行できる仕組みを構築。境港の動きが、日本商工会議所の指定様式の簡略化につながった。(H29年度)